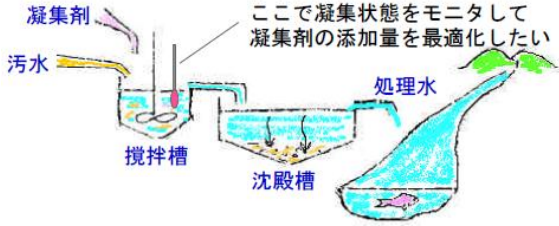


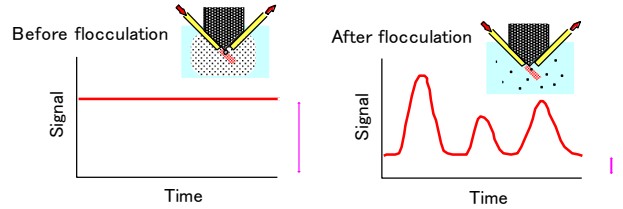
レーザー散乱光を利用した凝集センサによる自動薬注制御システム

環境調和とコストダウンを追及する新しい水処理システムの状態センシング。光や超音波を使って処理剤の効果をリアルタイムでモニタし、最適投入量による運転を実現。上下水道、工場廃水の処理施設に試用。

研究の目的

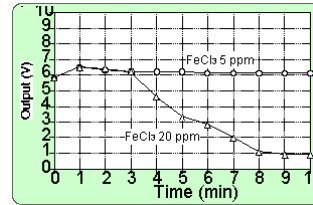
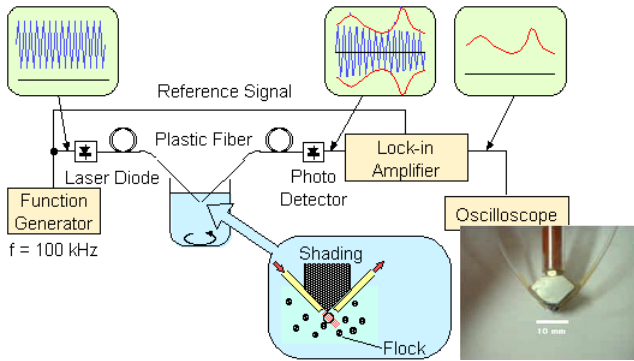


計測原理

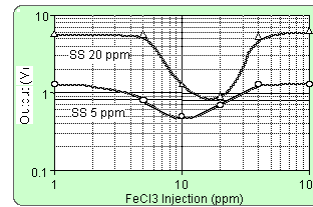


変動する出力の最低値が未凝集物の濃度に対応

大学における計測システムの試作と予備実験

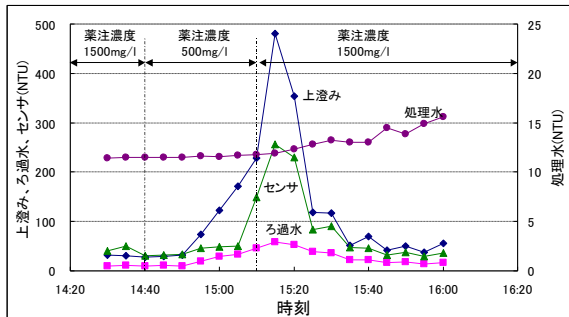
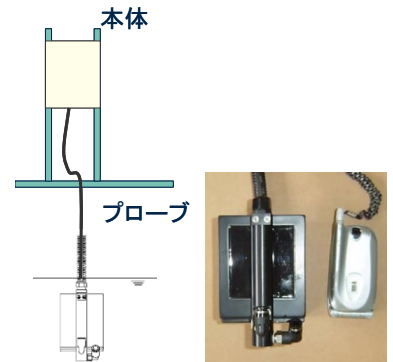
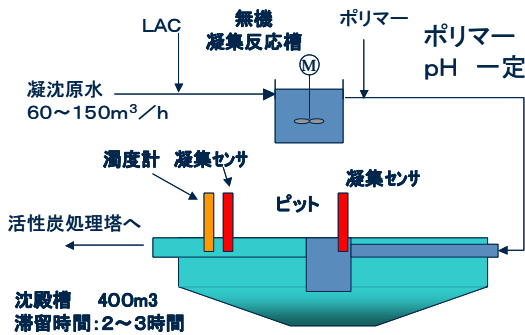


凝集にともなうセンサ出力の変化

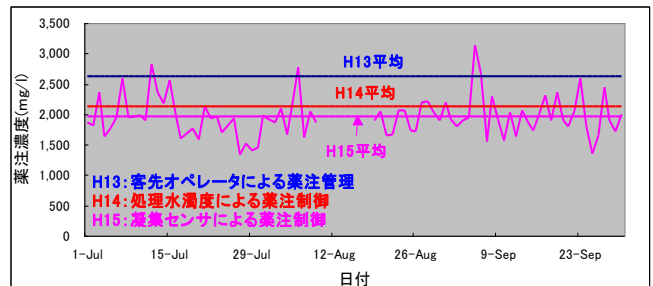


最適凝集剤注入量の決定

企業による実用化と実証試験



追従性の確認



薬液使用量削減の実証